

2019年(令和元年)度大社高等学校PTA教育研修会について〔報告〕

令和元年11月1日(金)午後、有朋館2階大研修室において、「しまね教育の日」の取り組みとして本校PTA主催の教育研修会を開催しました。今年度も出雲市役所福祉推進課と連携し出雲市聴覚障害者協会の協力を得て、以下のとおりの内容で実施しました。

「手話に触れてみよう！ 一手話講座(その2)」

(1) 開会行事 13:20~

- ①開会の挨拶、本日の目的・内容の説明 PTA会長 矢田 和則 様
- ②講演の講師と手話指導者・通訳者紹介 PTA副会長 須谷 真二 様

(2) 耳の聞こえない方の講演(DVD視聴もあり) 13:30~

演題「聞こえないってどんなこと」

講師 湯原 厚子 様(出雲市聴覚障害者協会)



(3) グループ別手話講座 14:00~

出雲市聴覚障害者協会の手話指導者・手話通訳者各3名と参加者が3グループに分かれ、手話を使ってコミュニケーションしました。保護者22名、生徒8名、教職員4名合わせて34名が参加しました。

- 手話指導者：湯原 厚子 様・正司 教通 様・平田 健太 様
- 手話通訳者：大瀧 由美 様・板垣 紀子 様・正司 久美子 様(出雲市役所福祉推進課)



(4) 閉会行事 15:00~15:10

○お礼の挨拶 FHT（大社高等学校家庭クラブ）会長 藤原 あおい さん



(5) 参加された皆様の感想

①保護者の感想

「初めて手話に触れることができ、楽しかったです。日常的な会話ができるようになるまでは覚える事も多く、大変そうだなと思いました。町中で困っておられる方がいたら、助けたいです。あいさつなど、少しずつ覚えていけるといいです。」

「初めて手話の講座を受けました。実際に体験すると興味がわきます。PTA 研修としても良いですが、子ども達にも体験して欲しいと思いました。手話だけでなく、耳の聞こえない方の理解にもつながると思います。」

「初めて手話を学びましたが、一つ一つの手話の意味も教えていただきながらだったので、とてもわかりやすかったです。普段使う機会は少ないですが、何かの時には使えるように、家でも練習してみようと思います。今日はありがとうございました。」

「昨年から2回目の手話でした。この一年間手話を使うこともなく忘れていましたが、今回学習して思い出しました。手話は楽しいコミュニケーションの一つだと思います。」

②FHT（大社高等学校家庭クラブ）生徒の感想

「手話のことをあまり知らなかったが、大変よく理解できました。とても楽しかったです。自分から進んで手話教室へ行き、手話を学びたいと思いました。日常生活で使う機会があったら使いたいです。」

「初めて手話をして、覚えるのがとても大変でした。耳の聞こえない方の苦勞が伝わってきました。日常生活で使える手話は覚えておきたいです。今日の研修会で、手話をしてとても楽しかったです。」

「前にも一度ほど手話の勉強をして興味を持ち、改めて勉強してみても楽しかったです。自分の名前の手話は初めて知ったので、機会があれば使っていきたいです。今後も手話に関する講演はしていったほうが良いと思います。」